

艇友

<本号の内容>

- | | |
|--------------|---------|
| 1 会長等挨拶 | 4 その他 |
| 2 平成30年度総会報告 | |
| 3 ボート部紹介 | ★TOPICS |



1 会長等挨拶



防衛大学校艇友会 会長挨拶

艇友会会員の皆様には、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。艇友会会長の24期（海上）の槻木です。会長に就任し、1年余を経過したところですが、この1年余を顧みると多々感じるがあります。

本年4月27日に第62回五大学レガッタが開催されましたが、防衛大は部員数が少ない中、カッター訓練が重なり対校エイトのクルーが編成できず、対校フォアのみの出漕となりました。また、5月連休期間中の校友会活動に係る学校方針によって、新1学年は五大学レガッタに参加できる環境にありませんでした。いずれも残念に思っています。特に、五大学レガッタの対校エイトに「防衛大」の名がないことは淋しいものです。エイトクルーが編成できるよう態勢を整えるとともに新入部員の確保に向けた現役ボート部員の積極的活動を期待したいものです。

艇友会活動の面においても、まだまだ活動が低調ということ認めざるを得ず会長としては申し訳なく思っています。艇友会各理事の献身的な活動には感謝していますが、艇友会会員の皆様に艇友会の実態や活動そして協力やお願いの声はまだ届いていない感を強くしています。特に、会費納入状況を拝見いたしますと納入者“ゼロ名”というクラス（期）が若いクラス（期）に多数あります。実に寂しいなあと思っています。若いクラス（期）の会員皆様は、ほとんどが現役自衛官であり、常に心は任務優先になりますが、どうか「その心を少しだけ、ボート部へ」向けて戴ければと願っています。

冒頭から暗い話となってしまいましたが、この1年余を顧みて、嬉しく思ったこともあります。まず、防衛大学校学生課勤務の阿南良徳さん（2空尉、高校時代に漕艇部所属）が2018年8月から、また、防衛大学校研究科学生として入校した福本一真さん（2陸尉、60期ボート部OB）が2019年4月から、それぞれボート部顧問に選任され、現役ボート部員をサポートする態勢が改善したことです。

次に、艇友会のホームページの改善があります。同ホームページは、防衛大学校同窓会ホームページの「校友会OB」内に存在していましたが、担当者不在のため内容が更新されず、現役学生及び艇友会の活動状況紹介や会員相互の情報共有に活用される状況になく、大変気になっていました。此度、保泉理事が担当となってホームページが刷新され、ようやく、艇友会の活動状況や関連情報をお届けできる状況になりました。各地域の艇友会会員の皆様の活動についてもホームページ内で発信して参りたいと思いますので、是非情報をお寄せください。

最後になりますが、人生100年時代と言われる今日、人生の上り坂にある人あるいは下り坂にある人いろいろですが、どの坂にあっても人とのつながりは長い目で見れば人生の糧になるのではないのでしょうか。共通の経験をした会員相互の親睦の場にも人生の糧が十分にあるように思います。関東地方にお住いの会員の皆様には、五大学レガッタの時期及び毎年3月開催の艇友会総会（懇親会）の時期には、極力会場に足を運んで戴ければ幸いに存じます。

会員の皆様におかれましては、引き続き艇友会に対するご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

防衛大学校艇友会会長 槻木 新二



防衛大学校ボート部 部長挨拶

日頃より学生の活動に対して、ご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。この春に入校した新入生(67期)8名も加わり、学生たちは一層、校友会活動に励んでおります。特に、4年生(64期)は率先した政権運営を行い、目標に向けて日々邁進しております。

さて、2020年東京オリンピックの正式種目であるボート競技は、新しく施設整備された、海の森水上競技場競技会場で開催されることになりましたが、図らずも候補地選びで全国的に注目されました。今後、オリンピックが開催されますと、ボート競技そのものが注目されるものと期待されます。防衛大学校ボート部も、その流れに乗って、数多くの有望な新入部員を獲得し、皆様にご満足いただけるような成果を残していきたいと思っております。

艇友会の皆様には、物心両面で引き続きご支援、ご進言、ご指導承ります様、よろしくお願ひ申し上げます。

防衛大学校ボート部部長 熊谷 達夫

防衛大学校ボート部 顧問挨拶



昨年の8月にボート部の顧問に就任いたしました訓練部学生課の阿南2空尉と申します。職種は昨年特技統合された情報通信システム(機上電子)です。高校で漕艇部に所属し、ダブル漕手、フォア漕手及びコックスとして乗艇していました。その後は、ほとんどボート競技に関わることはなかったのですが、2年前に前任地宮崎県で町のイベントとして行われたレガッタ大会に出場した頃から少しずつ接点ができ、昨年8月の転属を機に防衛大学校ボート部の存在を知り、再び競技の世界に戻ることができました。

平成最後となった第62回五大学レガッタでは、大会の開催、運営、応援に多くの艇友会の皆様の温かい御支援を賜り、無事に終えることができました。心よりお礼申し上げます。学生クルーは満足な乗艇練習が確保できないながらも全力でレースの臨み、結果を通じて自分たちの課題と向き合い、今後の成長に繋げようとする姿勢を見せました。また、新入生も少しずつ防大ボート部の扉を叩き、数人が入部手続に進んだようです。厳しい練習環境ではありますが、防大生ならば必ず結果を出せると考えています。

今後も顧問として、また課外活動係として微力では御座いますが、ボート部のために頑張らせて頂きますので、艇友会の皆様方のボート部への変わることのない暖かい御支援をよろしくお願ひ申し上げます。

防衛大学校ボート部顧問 阿南 良徳



防衛大学校ボート部 監督挨拶

皆様こんにちは。今年は5大学レガッタにエイトを出漕させることができず、艇友会の皆様へ心からお詫び申し上げます。しかし、学生の士気は高くエイトの伝統は絶やしたくないと夏のインカレ等にはエイトで臨むとの強い意志を持っております。艇友会の皆様におかれましても戸田等で学生の応援、ご支援をよろしくお願ひ致します。防衛大学校ボート部監督(艇友会総務理事) 萩 知幸

2 平成30年度総会報告

次のとおり実施しました。細部は、防衛大学校同窓会ホームページ中の「防衛大学校艇友会ホームページ」をご参照ください。また、同ホームページには、艇友会員が参加し、鶴見川等で実施される月例練習の内容をお伝えする「月例練習通信」、学生の合宿の様子をお伝えする「戸田合宿通信」、その他様々なお知らせ等を掲載しております。併せてご覧下さい。

アドレス：http://www.bodaidsk.com/community/tomo_boat/

(1) 平成30年度事業報告

時 期	事 業 名	内 容	備 考
2月12日	理事会	・平成29年度事業及び会計報告 ・平成30年度事業及び予算計画審議 ・総会、懇親会、五大学レガッタ大会運営支援等	グランドヒル市ヶ谷
3月 4日	総会・懇親会	・平成29年度事業・決算、平成30年度事業・予算計画等承認、春合宿、新入部員勧誘支援金贈呈	クラブ水交（原宿） 55名参加
3月～12月	月例練習	・毎月第1日曜日（鶴見川漕艇場）	鶴見川漕艇場、5大学 OBミドル合同練習
3月25日	お花見レガッタ	・応援	戸田漕艇場
4月28日	五大学レガッタ	・大会運営支援、OBレース参加、応援	戸田漕艇場 東工大（当番校）
5月26日 ～6月10日	現役学生練習支援	・OB同乗（エイト）による1学年練習支援（土、日）	戸田漕艇場及び荒川
6月10日	理事会	・艇友発行準備、今後のボート部支援等	グランドヒル市ヶ谷
6月24日	東日本選手権競漕大会	・応援	戸田漕艇場
7月 7日	「艇友」発行	・郵送：276通 電送：63通 合計：339通	防大
8月12日	夏合宿支援	・激励、支援金贈呈、艇友会副会長等と学生の懇談会	戸田漕艇場県立艇庫
9月6日 ～9日	全日本カヌー、ワッ盾応援	・応援	戸田漕艇場
10月13日 ～14日	東日本新人選手権大会	・応援	戸田漕艇場
10月25 ～28日	全日本選手権大会	・応援	戸田漕艇場
11月17日	五大学OBOG懇親会	・OB、学生参加：10名 ・5大学合計：102名	東工大（大岡山） 東工大（当番校）計画
11月18日	紅葉レガッタ	・OB参加、学生支援	宮ヶ瀬湖

(2) 平成30年度会計決算報告

収 入 (円)			支 出 (円)			
1	昨年度からの繰越	2,027,467	1	合宿支援費	100,000	春夏合宿
2	OB年会費・寄付	453,000	2	監督・コーチ指導料	8,840	
3	新規入会金	90,000	3	新入生勧誘支援	30,000	
4	新艇購入積立金	270,000	4	総会・懇親会支援	116,470	
			5	ホームページ運営費	5,000	
			6	艇友発行費	41,527	
			7	通信連絡費	21,080	・総会懇親会案内状
			8	雑 費	13,083	・夏合宿激励等
			9	予備費	251,499	・入会3種の神器購入（ネックタイ、Tシャツ等）
合 計		2,840,467	合 計		587,499	
残金（次年度繰越）					2,252,968	（新艇積立金1,065,000円含む）

(3) 令和元年度事業計画

時 期	事 業 名	内 容	備 考
2月11日	理 事 会	・平成30年度事業及び会計報告 ・令和元年度事業及び予算計画審議、総会打合等	グランドヒル市ヶ谷
3月10日	総会・懇親会	・平成30年度事業及び決算、令和元年度事業及び 予算計画等承認、春合宿、新入部員勧誘支援金贈呈	クラブ水交（原宿） 47名参加
3月～12月	月例練習	・毎月第1日曜日（鶴見川漕艇場）	鶴見川漕艇場、5大学 OBミドル合同練習
4月27日	五大学レガッタ	・大会運営支援、OBレース参加、応援	戸田漕艇場
5月～6月	理事会	・艇友発行準備、今後のボート部支援等	グランドヒル市ヶ谷
5月23日 ～26日	全日本選手権大会	・応援	戸田漕艇場
7月	「艇友」発行	・会長等挨拶、総会報告、5大学レガッタ等	防衛大学校
8月	夏合宿支援	・支援金贈呈、懇談会	戸田漕艇場
9月 5日 ～8日	全日本インカレ、ワックス フォード盾レガッタ応援	・応援	戸田漕艇場
10月12日 ～14日	東日本新人選手権大会	・応援	戸田漕艇場
11月 9日 ～10日	東日本選手権競漕大会	・応援	戸田漕艇場
11月	五大学OB・OG懇親会	・OB、学生参加	外語大(担当校)計画
11月17日	紅葉レガッタ	・学生、OB参加、応援	宮ヶ瀬湖

※ 艇友会員により、ボート部監督又はコーチの手当を行い、現役ボート部員に技術的な指導等を実施する。

※ 会員の皆様におかれましては、上記事業計画を予めご予定にお入れ下さい。

(4) 令和元年度予算執行計画

収 入 (円)			支 出 (円)			
1	昨年度からの繰越 (新艇積立金 1,065,000を含む)	2,252,968	1	合宿支援	100,000	春・夏合宿
2	OB年会費・寄付	500,000	2	監督・コーチ指導料	20,000	
3	新規入会金	100,000	3	新入生勧誘支援	30,000	
4	新艇購入積立金	300,000	4	総会・懇親会等支援	150,000	
			5	ホームページ運営費	10,000	名簿作成費用含む。
			6	艇友発行費	50,000	
			7	通信連絡費	30,000	
			8	雑 費	20,000	
			9	予備費	150,000	
合 計		3,152,968	合 計		560,000	
残金（次年度繰越）			2,592,968(新艇積立金1,365,000円含)			

(5) 新艇購入積立金（単位：千円）

平成年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
積立収入	340	300	275	240	180	270	(300)	(300)
購入支出	435 フォア				100 中古エイト			(1650) エイト
積立残高	▲95	205	475	715	795	1,065	(1,365)	(15)

※（ ）内は目標

(6) 令和元年度役員

会 長：槻木新二（24期海）
副 会 長：山中洋二（26期陸）
秋山圭太郎（31期空）兼現役自衛官担当
理 事：保坂 収（24期陸）会計担当
保泉哲也（26期海）名簿担当、HP担当
萩 知幸（29期陸）総務担当・月例練習等担当
遠藤正幸（40期陸）防大職員候補選定担当
監 事：溝越正信（23期陸）監査担当
監 督：萩 知幸（29期陸）（総務理事と兼務）
理事補佐：市川力也（47期陸）現役自衛官担当（正）
伊藤 徹（49期空）現役自衛官担当（副）
小沼洋祐（49期海）現役自衛官担当（副）
夏井裕之（53期陸）監督補佐、コーチ
高垣内隆夫（49期空）名簿担当補佐
永井孝篤（55期陸）顧問、学生、総務、会計補佐

(参考) 防大ボート部指導部	
部 長	教授 熊谷達夫
顧 問	准教授 寺田大介
顧 問	2空尉 阿南良徳(学生課)
顧 問	2陸尉 福本一真(研究科)

(7) 平成30年度防大艇友会総会・懇親会

今回も防大の国際士官候補生会議の都合上、平成31年3月10日(日)クラブ水交(原宿)において47名(OB等21名、学生26名)が参加し無事実施できました。

当日は良い天気恵まれ、総会では特に、学生の支援要領、月例練習のあり方等に関し、真剣な議論がなされました。また、懇親会では会員同士の旧交を温め、現役学生を激励するとともに、更なる精進を期待して、暖かな春の一日を楽しく過ごしました。なお、懇親会において、4回目となる艇友会入会式が、卒業生10名(63期生)に対し実施されました。



中列(敬称略)：26N 保泉、25F 東井、24A 保坂、55A 永井、21N 宮崎、18A 西堀、29A 萩

前席(敬称略)：20A 西村、26A 山中、13A 篠田、8N 矢島、7A 寺本、24N 槻木、5F 大橋、18N 松岡、21F 山崎、21N 今田、阿南顧問

3 ボート部紹介（一部については総会報告を行いました。）

(1) 部員数 計 26 名 (令和元年5月25日現在)

4 学年 (6 4 期) 4 名 3 学年 (6 5 期) 9 名
2 学年 (6 6 期) 5 名 1 学年 (6 7 期) 8 名

(2) 平成30年度の活動・大会結果

4 月 五大学レガッタ

エイト : 2 着 / 2 艇 7 分 5 6 秒

男子シングル: 4 着 / 6 艇 9 分 0 5 秒

8 月 夏合宿 (6 日 ~ 2 3 日)

9 月 全日本大学選手権大会

フォア : 予選 4 着 / 4 艇 7 分 2 1 秒 敗復 4 着 / 4 艇 7 分 3 8 秒

男子ダブル: 予選 6 着 / 6 艇 7 分 4 6 秒 敗復 6 着 / 6 艇 7 分 4 7 秒

オックスフォード盾レガッタ エイト: 予選 (除外) 敗復 4 着 / 5 艇 7 分 0 1 秒

1 0 月 東日本新人選手権大会 (1 0 0 0 m)

女子シングル: 予選 5 着 / 5 艇 5 分 1 7 秒 決勝 C 4 着 / 5 艇 5 分 1 4 秒

エイト : 決勝 5 着 / 5 艇 3 分 3 8 秒

全日本選手権大会

男子ダブル: 予選 6 着 / 6 艇 7 分 5 2 秒 敗復 5 着 / 5 艇 7 分 4 6 秒

(3) 令和元年度の活動予定

3 月 春合宿 (3 月 2 2 日 ~ 2 7 日)

4 月 第 6 2 回五大学レガッタ (4 月 2 7 日午後) 男子フォア出艇

8 月 夏合宿

9 月 全日本大学選手権大会・オックスフォード盾レガッタ (9 月 5 日 ~ 8 日)

1 0 月 東日本新人選手権大会 (1 0 月 1 2 日 ~ 1 3 日)

1 1 月 東日本選手権競漕大会 (1 1 月 9 日 ~ 1 0 日)

4 その他 (会費納入のお願い: 艇友会会計担当理事 保坂 収 2 4 期陸)

平成30年度は、会員の皆様の会費納入に対するご協力によりまして、艇友会の活動も滞りなく実施できましたことを心から感謝申し上げます。昨年度は29年度に比較して会費と新艇積立金の合計納入金額は微増し、皆様のご理解に重ねて感謝申し上げます。しかし、若年期の会費納入者が著しく多い現状は変わっておりません。何卒、本「艇友」をご覧頂き、ご自身の会費納入はもとより同期の方、或いは部隊内の会員にも、お声掛け頂きますようお願い申し上げます。会費納入は基本的に同封の振込用紙を使用して頂き、「艇友」の電子メール受領又は紛失された方は、最寄りの郵便局で下記口座にお振込み頂きますようお願い申し上げます。

(令和元年度会費: 1 口 5, 0 0 0 円、新艇購入費: 1 口 5, 0 0 0 円)

① ゆうちょ銀行から振込む場合

* 口座番号: 0 0 2 7 0 - 8 - 6 0 6 4

* 口座名: 防衛大学校 艇友会

② ゆうちょ銀行以外の金融機関から振込む場合

* 支店名: 〇二九 (ゼロ・ニ・キュー) (支店番号: 0 2 9) (パネルは「セ」と表示されますのでセを押下して〇二九を選択下さい。) * 口座種類: 当座貯金

* 口座番号: 6 0 6 4 (00270-8-6064 の内下 4 桁で可) * 口座名義: 防衛大学校 艇友会 (口座番号入力後、確認場面が表示され、ボウエダバツコウ テイユカイ と カガキ で表示されます。)

TOPICS

第62回 五大学レガッタ

第62回五大学レガッタ（平成31年4月27日（土）（於 戸田オリンピックコース））

今大会は、時折小雨が降る寒い中ではありましたが、レース等に無事に参加することができました。結果については、OBエイト(シニア)が3位/4艇、OBエイト(ヤング)が3位/4艇でした。また、新人ナックルフォアは、新1学年が、連休期間中は学校統制で校友会活動に参加できなくなったため出艇できず、エイトもカッター訓練等のため、クルーが揃わず残念ながら参加断念となりました。唯一参加出来たフォアは東工大と2艇レースとなりましたが、最後まで先行する東工大に食らいつき7分38秒の成績を挙げることができました。



スタート地点へ向かうOBエイト（シニア）



全力を出し切った対校フォア

下記に、大会参加者を代表しまして米田主将と東井OBのコメントを紹介します。

米田主将：今年の五大学レガッタは人数の都合上エイトでの出場は叶わず、舵手付きフォアのみでの出場となりました。レースでは東京工業大学との一騎打ちになり、結果は負けとなりましたが、少ない人数、時間等の中で勧誘と練習との両立をしてくれた部員達には感謝できません。しかし、負けという結果を受け入れ現時点での実力と反省を踏まえてこれからの練習及び新入生の教育には励まなければいけません。そのことも考慮して我々はこれからの練習に努めていこうと思っております。

最後になりましたが、今大会において艇友会の皆様には多くのご支援を頂きました。この場をお借りし御礼申し上げます。今年はボート経験者3人を含めた8名の新入生を迎え、防大ボート部は更に活気付いております。これからも応援、ご支援等、何卒よろしくお願い致します。

東井OB：防大卒業以来、約38年ぶりにオールを握ることになりました。還暦を迎える歳になって再びボートに乗ることになるとは思ってもみませんでした。今年初めてOB総会に出席した時に誘われて出場することになったのです。

当日は小雨降るやや寒い天気でしたが、コンディションとしてはまずまずでした。OBエイトのシニアとヤングの2回、それぞれ500mに出場させて頂きました。久しぶりのレースでスタート時の緊張感とレース時の緊迫感を味わい、現役時の感動を再び味わうことができました。

ボート部の思い出はきつい、しんどいというのが先に立ちますが、このような感動もあったなとレースに参加をして思い出すことができました。ただし、日頃の運動不足がたたったり、漕ぎ自体も思い通りにはいかず、他のクルーの皆さんの足手まといとなりかなりの抵抗になってしまいました。しかしながら、とてもいい機会を得ることができ、出場できて良かったと思っています。

これを機に、月に1、2回程度ではありますが、ボートを漕いでいます。もう少し体力と技量を上げて、来年の5大学でいい結果が得られるよう頑張りたいと思っています。

これをお読みのOBの皆さん、是非OB総会や5大学レガッタ等にもおいで下さい。そして、頑張っている現役学生を励まし、またOB同士の交流のため一緒に漕いで汗を流してみませんか。

現役学生の声

合宿支援については、例年、春及び夏合宿に際しては支援金を頂いており、非常に感謝しています。令和元年度も引き続き艇友会の皆様からの合宿へ対するご支援をよろしくお願いします。

コーチングについては、今春から11月に開催される東日本選手権競漕大会に向け、継続的にコーチをして下さる方を要望します。この際、防大OBでも他大学等のOBでも構いません。

五大学レガッタでは、審判員を学生主体で派出しています。しかし、防大では学生の資格取得が難しく、OB各位において審判員の確保、ご支援を3名程度お願いします。 ボート部一同

若手OBの声

- | | | |
|-------------------------------------|--------|--------|
| ・ 少しずつの積み重ね | 壱岐 幸浩 | 6 2 期空 |
| ・ 精一杯やれるだけやりきれ！ | 上野 太輝徳 | 6 2 期陸 |
| ・ 今しかできないことを全力でやりましょう！ | 浅見 佳紀 | 6 2 期陸 |
| ・ 艇に乗る人、乗らない人、それぞれの立場で一生懸命頑張ってください！ | 西川 太郎 | 6 2 期陸 |
| ・ 今を大切に | 恩田 栞奈 | 6 2 期空 |
| ・ 悔いのないように全力を尽くせ！ | 本田 雄一 | 6 2 期海 |
| ・ 辛い時こそ笑顔で！ | 森山 博仁 | 6 2 期空 |

秋の月例練習会について

月例練習会活性化の一環として、横浜市民体育大会におけるレガッタの場を活用した練習会を計画しております。概要は次の通りです。参加を希望される方は総務理事萩までお知らせ下さい。艇友会盛り上げのためクルーのみではなく、応援、レース後の懇親会のみでの参加でも大歓迎です。

- ・ 大会名：令和元年度横浜市民体育大会
- ・ 日時場所：令和元年10月27日（日）鶴見川漕艇場（JR京浜東北線『鶴見駅』西口
JR南武線『尻手駅』より 徒歩20分）
- ・ 参加種目：ナックルフォア
- ・ 参加要領：クルー、コックス、応援、懇親会参加
- ・ 連絡先：総務理事 萩 知幸 TEL 090-3090-4695
PC qq3w9b59k@clock.ocn.ne.jp

謝 辞 等

艇友会の会員の皆様、如何お過ごしでしょうか。今年度も無事「艇友」を発行することができました。これも、皆様のご支援、ご協力のおかげと深く感謝致します。特に「艇友」編集に当たりご支援、ご協力を頂きました理事会の方々、「若手OBの声」の取り纏めをして頂きました壱岐OB、そして発送作業を手伝って頂きました防大の現役ボート部員の諸君に御礼申し上げます。ありがとうございます。 艇友会総務担当理事 萩 知幸 29期陸